

議員の振り返り

1. 当日の運営について（方法、内容、進行など）

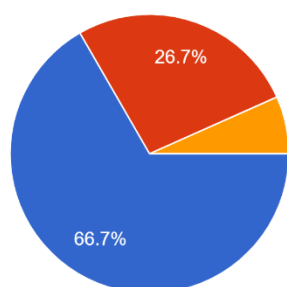
- ・良かった
- ・運営、進行方法は良いと思うが、内容的に 10 年後結婚してるか？子供は何人？どんな人、等より、もっと政治的に興味、関心が持てる内容にしては良いのでは？
- ・リラックスした環境で良かった。
- ・結婚、持ちたい子どもの数を問うラウンドでの質問は進行役からの問いかけには、ジェンダー平等や性自認等への配慮が必要だと思いました。持続可能な社会実現には子どもを産み育てて貰うことが必要ではありますが、それを聞いてどうしたい？を議会が目的明確に持つておくべきと考えます。
- ・グループ討議内容の検討必要。
- ・スムーズな進行、時間配分も良かった。
- ・時間的には、ちょうど良いのではないか。議員にもっと事前説明が、あってもよかったですのではないか。
- ・予定通り行えた
- ・議会と高校と町との三者連携事業であったが、基調講演とグループワークの「10 年後・・・」がうまく連動できなかつた。「地方自治の担い手意識の醸成」という目的を考えれば、10 年後の地域での関わりについて生徒と話を深めたかたです。事業の日程については、高校の予定、キャリアキュラムなど様々な背景もあると思いますが、12 月定例会中での開催はやはり厳しかったのではないのでしょうか。
- ・事前に行った講演はほとんどの生徒が覚えていなかた。連続性を感じられない。「10 年後の自分」を考える余裕がない生徒もいた。ラストラウンドで議会や議員についての問いがあつたが、「10 年後の自分」とのつながりが感じられず戸惑う生徒がほとんどであつた。進行はスムーズであつた。
- ・総合司会の設定があつたため取り組みやすかつた。
- ・スムーズに運営できていたと思います。
- ・特に問題なし
- ・日程が 12 月定例会期中となり通告日とも重なつてしまつた（あらためて日程の調整については検討必要）。
- ・グループワークでは総合進行がいることでそれぞれのグループでの議論が進めやすかつた。

- ・議論のテーマについては家族や子供などの設問においてはもっと配慮が必要。
- ・特に問題点は無かったと思います。スムーズに運営できた。

2. グループワークの中で出た意見等を踏まえて、議会として参考になったこと、取り組んではどうかということがありましたら記載願います。

- ・高校生とは言え、町内会の重要性や将来における関わり方に真剣に考えていることを認識出来た。
- ・今回のグループワークメンバーからは参考意見は皆無でした。成果はただただ身近に感じたのみ
- ・広報などの周知徹底に一考が必要かと。生徒の気持ちを汲み取る姿勢が大切。
- ・情報発信手段（新しい SNS）の取り組み検討
- ・特に無し。
- ・高校生の情報収集は TikTok だと理解した。
- ・別に何も参考にしていいのかわかりませんが、意識してレポート提出すると思っていなかったら。
- ・夜間利用できる保育所、託児所を町に作る
- ・2年時に模擬議会を経験しており、議会についての認識はあったと思いますが、さらに「認知度向上」の機会となれば良いのですが。「10年後の・・・」ということで、町への課題提起はなかったと思います。ボランティア、イベント参加の話はありました。関わりのある生徒がいました。
- ・議会や議員を知ってもらうために SNS を活用した手法が提案されたが、新しい SNS は次々に開発されており追いかけてもキリがないと思う。
- ・TikTok や Bereal が良いかは別として SNS の有効活用はより必要だと感じました。
- ・特にありませんでした。
- ・定期的な交流の場を創設する。主催はどこでも良いので数多く交流することが議会や議員の認知と信頼関係のこうちくに繋がる。
- ・グループによって議論が活発なところとそうでないところの温度差があった。議員としてファシリタの向上がさらに必要と感じた。
- ・SNS だけではなく、どうしたら議会や議員に魅力を感じてもらえるかという議論の深みがあるとよかった（議会としての危機感が不足しているかもしれない）
- ・議会の存在を広く周知する手法としては SNS (YouTube や TikTok など) を活用してはどの意見が多いように感じた。

3. 事業評価について（目的の達成度）



- ①概ね達成した
- ②取り組んだが、不足している部分等が見受けられ、改善の余地がある
- ③まったく達成していない

① 10名

② 4名

③ 1名

3-2 上記で②と③と回答した方は具体的に記載願います

- ・生徒の気持ちを行政並びに議会に如何に活かすかが課題・
- ・議会として得るもの無し。
- ・まちづくりへの関わりで自分で出来ることはないかと考えるきっかけにはなったと思う。
- ・この事業だけで、当然、3つの目的を果たすのはやはり困難かも知れません。このようなグループワークの経験があまりなく、議員の人との話し合いはいい経験になった。と言っていたグループはありましたが・・・こんな「場」を共有する時間を持つことが重要なのかなど。
- ・「10年後の自分」を考えることは自分の将来を考えることであって、生徒も「自治意識の醸成」「まちづくり参加」を意識した回答をしていないので、議会が掲げた目標につながっているとは思えない。ラストラウンドの問いは「議会活動の認知度向上」を意識したものであるが、生徒には唐突感があり、儀礼的な回答だった。
- ・議会内での振り返りに十分な議論がなされていない。
- ・今年度の事業としては概ね達成できたと感じます。ただし、対学校としての事業と考えると引き続きこの事業は継続すべきと考える。

4. 全体を通して何かありましたらご自由に記載願います。

- ・事業の継続性は重要であり、主権者としての意識の醸成の場であることも改めて再確認できた。
- ・もっと議員の仕事内容を知ってもらう機会になればと思う
- ・時期的に生徒にとって大切な時期と思われる。進学就職で気持ちが落ち着かない時期と想像するので時期を考える必要があると思う。

- ・1年生、3年生と議会が関わることを今後も継続することで、事業の目的が達成されると考えます。1年生の事業内容については、年間の取り組みが複数回確保されるのであれば、台本に頼らない、本当の生徒からの政策提言も可能だと考えますが・・・。
- ・開催の意義、目的、内容、実施再検討必要あり。
- ・2年次の議会体験の感想を聞いてみたが、中継操作など体験したことの記憶が残っている。
- ・2回の議会との関わりで自治の気持ちが芽生えることを期待したい。
- ・男子学生と女子学生では10年後の社会の見方が違うかもしれない。
- ・昨年度、令和5年度事業実施のポイントの提示がありました。事業の目的の明確化、議会内の共通認識を図る。そして、学校との協議・調整により双方の共通認識を図り事業に取り組むとありました。なかなか、双方忙しく協議の時間も限られますが。連携協定にある、双方の活動・発展に資することが目的と考えれば、事業継続についても、また新たな連携事項など、学校との協議は必至と思います。
- ・定例会議会期中は、定例会議に集中したいし、急な委員会が入ることがあるので、議会活動は入れるべきではないと思う。生徒にとって「10年後の自分」を考える時間は有意義なものであったと思うが、議員ではなくてもできること。連携協定事業は理解するが、複数日や時間的拘束は負担であり、全生徒への直接的な関わりは負担感もある。これまでの取り組みは総括し、写真部の議会だよりの写真提供やモニター会議への参加など持続可能な取り組みに変えていくことも検討すべきだ。今後も同じような内容を続けるなら全議員での参加は見直し、自由参加も可とすることも検討したい。
- ・これから有権者になる世代とのこういった交流はどういった形であれあったほうが良いものと思います。
- ・高校生との対話は、元気をもらえます。
- ・事業内容における目標値は事前に定めておくひつようがある。例えば事業の前後で生徒の主権者意識に変化があったかどうか等
- ・議員にとっては毎年同じ内容で進化していないように感じるかもしれないが、生徒は毎年変わっており、事業の継続については重要であると感じる。今年度、事業目的から「若い世代の考えを政策に反映」をやめ、一定整理していることを考えれば目的を達成するための事業になっていると思う。直接的な要因でないにせよ、こうした事業を通じて「議会活動の認知度向上」が図られ、議会モニターやジモト大学への参画等につながっているものと考えれば、すぐに結果に表れない事業効果があると考えます。
- ・3年生にとっては良い経験が出来たと思うので継続する事に意義のある事業と考えます。